

概要（日本語）
OECD 通信白書 2003

Overview

OECD Communications Outlook: 2003 Edition
Japanese Translation

本概要は OECD 刊行物の抜粋を翻訳したものです。
ご希望の際は、OECD オンライン ブック ショップから無料で入手できます。
(www.oecd.org)

本概要は OECD の公式翻訳ではありません。



ORGANISATION FOR ECONOMIC CO-OPERATION AND DEVELOPMENT

経済協力開発機構

「OECD 通信白書 2003 年版」(OECD Communications Outlook 2003)は、OECD 諸国における通信セクターのパフォーマンスとその政策枠組に関する比較可能な最新データを掲載している。本書で提供されるデータは、1998 年に自国市場を本格的に競争に開放した多くの OECD 諸国にとって競争が激化した 4 年間をカバーしている。この 2003 年版は通信セクターの主要な変化とトレンドを分析し、将来の動向を探っている。

「通信白書」は様々な通信ネットワークの発展にかかわる広範な指標を提供し、OECD 諸国の収益、投資、雇用、サービス料金などのパフォーマンス指標を比較している。これらの指標は、業界はもとより、ベンチマーキングを用いて政策パフォーマンスの評価を行っている規制当局にとっても不可欠のものである。姉妹版の「電気通信データベース 2003 年版」(Telecommunications Database 2003)は、OECD 諸国の 1980~2001 年の電気通信・経済指標(ネットワーク規模、収益、投資、雇用など)を提供している。

情報技術のトレンド、グローバル化、生活や労働へのその影響に関するさらに詳しい情報については、「OECD 情報技術白書」(隔年刊)を参照のこと。

第一章 はじめに

本章は「OECD 通信白書」の総論を提示している。政策と規制の問題を取り上げ、電気通信市場の規模と構造を検討している。また、業界の競争状況と 2001~2002 年に業界を見舞った財政危機について論じている。さらに、業界が直面する将来の課題にも触れている。

第 2 章 通信政策の最近の進展

電気通信業界は過去 10 年間の生産性の上昇と技術の普及で重要な役割を果たしている。電子商取引やインターネットの成長と普及を支えるインフラとして、電気通信業界はニューエコノミーと経済構造変革の主要な担い手となっている。本章は競争、規制当局のセーフガード、外資の株式保有比率、相互接続、ポータビリティとキャリアの選別、ローカル・ループ・アンバンドリング(local loop unbundling)、インターネット規制、CATV などのトレンドを取り上げている。家計における通信支出についても論じている。

第 3 章 電気通信市場の規模

OECD 諸国の電気通信サービス収益は 2001 年に 8,310 億米ドルに達した。これは 2000 年に比べ 2% の増加である。電気通信部門は拡大を続けたものの、伸び率はこれまでより大幅に鈍化した。本章は電気通信市場の規模に関する情報を提供している。特に、ワイヤレス市場、国内通信、専用線、研究開発について取り上げている。

第 4 章 ネットワークの規模と発展

OECD 全域にわたって通信ネットワークへのアクセスは拡大し続けている。2001 年末時点で、固定電話と携帯電話の加入者総数は 12 億人であった。これは 2000 年に比べ 8.7% の増加である。本章はネットワークの規模と発展への投資を取り上げ、特にデジタル化とモバイルアクセスのプロセスに焦点をあてている。

第 5 章 インターネットとブロードバンド・インフラ

2001 年末時点で、OECD 諸国における固定回線によるインターネット接続の加入者数は約 2 億 1,300 人であった。モバイルのインターネット利用者数も増加している。ブロードバンドも一般化してきており、ブロードバンドによる加入者数は 2002 年末に 5,000 万人を超えている。加入者総数の増加パターンと先進国におけるブロードバンドの急速な拡大はともに、OECD 諸国でもアクセス能力と利用できるアクセス品質の両面でデジタルデバイドが解消されていないことを示唆している。本章はインターネット・インフラについて取り上げ、固定回線によるインターネットとブロードバンド接続への加入者数やインターネットホストに関する情報、ウェブサイトやセキュアサーバー、ドメインネームに関する統計を提供している。

第 6 章 料金設定の主要動向

いくつかの主要なトレンドがここ数年の電気通信の料金設定構造を象徴している。本章はこれらのトレンドを取り上げ、ダイヤルアップ接続によるインターネットアクセスの料金設定、DSL の料金設定、家庭向け・企業向けの通信料金バスケット、家庭向け・企業向け個別料金、国際料金、モバイル通信、専用線、ローカル・ループ・アンバンドリングなどに関する情報を提供している。

第 7 章 サービス品質

新規の電気通信接続に際して、大半の OECD 諸国ではあまり待たされることはない。多くの国では、回線が敷設されていれば大半のユーザーは 1 日か 2 日で固定電話接続を利用できるようになるので、こうしたデータはすでにとられなくなっている。本章は、新規回線開通所要日数、公衆電話普及度、通信網の保守、電話番号案内、国際通話成功率（ASR）など、電気通信業界によって提供されているサービスの品質について取り上げている。

第 8 章 雇用と生産性

2001 年末現在、OECD 諸国の電気通信サービス業界の雇用者数は 300 万人であった。電気通信業界の雇用者数の伸びは 2000 年にピークになり、その後は減少に転じている。しかしそれでも、2001 年末の雇用者数は 90 年代のいかなる年より多くなっている。本章は電気通信業界の雇用と労働生産性について取り上げている。また、業界のスキルレベルについても論じている。

第 9 章 通信機器貿易

OECD 諸国の通信機器貿易は 90 年代を通じて大幅に増加し、その伸び率は製品貿易全体の伸び率の倍以上に達している。本章は、通信機器の輸出入と貿易収支について取り上げている。また、通信機器貿易の品目に関する統計や通信機器貿易の方向についても論じている。

本概要 は下記の OECD 刊行物（英・仏）の抜粋を翻訳したものです。

OECD Communications Outlook: 2003 Edition
Perspectives des communications de l'OCDE: Edition 2003

© 2003, OECD

OECD 刊行物と概要はオンラインブックショップ

(www.oecd.org/bookshop) で入手可能です。

オンラインブックショップの「Title search」欄 に「overview」又は原

書名をご入力下さい（概要は原書にリンクされています）。

概要は広報情報局著作権・翻訳課によって製作されています。

電子メール： rights@oecd.org

ファックス: +33 1 45 24 13 91



© OECD, 2003

本概要の転載は、OECD の著作権と原書名を明記することを条件に

許可されます。